



加治丘陵だより

加治丘陵山林管理グループ

平成24年5月15日

第18号

NPO法人

加治丘陵山林管理グループ

E-mail iruma@npo-kajikyuryo.net URL <http://npokajihozan.seesa.net/>

市長ごあいさつ



入間市長 田中 龍夫

「NPO法人加治丘陵山林管理グループ」の会員の皆様におかれましては、日頃より、市政並びに加治丘陵の保全・活用計画に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

貴法人の取組は、行政との協働の模範であり、その活動に対して敬意を表する次第であります。

加治丘陵は、首都圏40km圏にありながら、豊かな自然が残る里山であり、昔から地域の人々と共生してきました。

加治丘陵は、私にとってもいつも身近な存在がありました。幼少期からの原風景としてまた、楽しく遊んだ思い出もたくさんあります。現在もたびたび散策をしており、四季折々の自然を満喫しています。

入間市には豊かな自然と積み重ねた歴史、そして文化があります。その中でも特に加治丘陵は、かけがえのない自然であり、入間市が誇れる財産であります。

「充実した生活都市 入間市」の実現に向け、加治丘陵の保全や市民の方が安全に利用していただくための施策を推進していきますので、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに会員の皆様のご多幸とご健勝でのご活躍を祈念し、ご挨拶いたします。

平成25年度に向けて

理事長 山畠 博

平成24年度の予定されていた作業は、会員の皆さまの協力により計画どおり完了しました。

加治丘陵の山々も、年々明るい自然を取りもどしつつありますが、広大な山地ですから、まだまだ昔のように木の間越しに遠くまで見通せるような風景とまでは行きません。“千里の道も一歩から”的諺(ことわざ)のように一歩ずつ前進することが肝要です。

平成25年度も、県・市当局の計画に沿って、当グループの力を結集し事業を展開してまいります。今年度の作業としては、桜山展望台周辺の樹林を間伐して、遠くから見通せるような景観を良くする作業、山仕事の広場周辺が人々の憩いの場として利用されるよう草刈りの作業、遊歩道を散策する人たちが小休止できる簡易ベンチの設置や道標の整備、また落葉掃きも年数回予定しております。台風の季節には、枯損木の伐採処理も欠かせない仕事となります。安全で無理のない作業を心がけ、予定作業を完了するため、会員の皆さまの積極的な参加を期待しております。

これから5ヶ年を展望する

副理事長兼事務局長 大山 博

これから先、5カ年は過去10年の実績を参考にして、バランスのある組織運営を前進させなければならぬ。特に理事役員は、各々の職務を全うするとともに後継者の発掘に取り組むべきである。

- ① 作業活動は、入間市との委託契約にもとづき維持継続する。
 - ② 当初の会員が高齢化して減少傾向にあるため、常に若い会員の入会を勧誘し、概ね180名を維持継続する。
 - ③ 組織体制は理事長と3副理事長の分掌で責任体制の強化を図り、推進継続する。
 - ④ 作業安全対策のより充実性が求められ、研修を重点に実施する。
 - ⑤ 会報の発刊、親睦会の開催で、会員同志の絆を深め、士気高揚を図る。
- 今、70歳代を中心であり、これから5年間の課題は(1)特殊作業従事者の育成、(2)後継者の発掘と育成、(3)動力機械操作研修の開催、技術者の養成、(4)財政面では助成金制度の効率的活用などがある。いずれにしても現状のままでいくと5年後の活動力が憂慮されるため、英知を結集して対策を講じていく必要がある。

平成24年度作業実施結果について

副理事長・作業班長

菱川 浩次

平成24年度も皆さまのご協力により無事に全作業を終了することができました。作業内容も多様化し、その一つにヒノキを伐採して皮むきした丸太材を作り、遊歩道の階段を作りました。今後は間伐材を利用した新しい作業が追加されるものと思われます。

主な作業の実績

下草刈り（メモリアルを含む）：総面積118,459m²、
伐採本数（危険木、枯損木）：351本、丸太材：約400本
階段（桜山展望台下 右の写真）：110段
(作業日数合計：119日、作業参加延べ総人員：1,044人)



桜山展望台への階段造り



完成した階段

安全教育研修会の開催（さとやま管理事務所）

理事・研修班副班長 砂川英昭

【動力機械操作研修】 4月7日(日) 23名出席、(有)内沼機械 内沼貴明社長を講師として招聘。刈払機とチェーンソーについてその構造と仕組み・安全で正しい取扱い方法・故障とその原因と対処などの講義を受け、その後の実習では、各機械の操作練習を行った。

【救急救命研修】 4月14日(日) 21名参加 農業改善センター会議室。

今回は入間市消防本部警防課より救急担当の4名の署員の方に来ていただき、座学講習のあと、マネキン3体による心肺蘇生法の実務研修を行った。最初に胸骨圧迫などによる人口呼吸、次にAED（自動対外式除細動器）を使用。全員が懇切丁寧な個人指導を受けたが、高齢者が多い当グループだけに今後の危機管理に対する重要な教育だった。署員の皆さんにはあらためて感謝いたします。



AED使用の実習

お知らせ・イベント情報

●市民ギャラリーに写真展示

1月15日(火)～18日(金)の4日間、市役所の市民ギャラリーコーナーで開催。グループの紹介・活動写真、「幸せを呼ぶフクロウ」などを展示。初めての試みであったが、多くの見学者が訪れる市民に理解を得るよい機会となった。

●新春顔合わせ会

1月18日(金)磯花48名出席。新旧市長、国会・県会・市会の各議員の皆さんも参加され、大変盛況であった。

●お花見

4月1日(月)愛宕公園43名参加。この日だけ平穏な天候に恵まれ多数の会員が出席、桜も満開で大いに盛り上がった。

●第10回桜山ゴルフ会

4月18日(木)埼玉ロイヤルGCで開催、22名参加。初出場の平田 勉さんが優勝。

今後の予定

- ◆第11回通常総会 6月9日(日) 市民活動センター
- ◆第2回いるま環境フェア 6月16日 産業文化センター
- ◆暑気払い（彩の森 花火大会） 7月26日(金)
- ◆森林研修旅行 9月8日(日) 場所未定
- ◆入間万燈まつり 10月26日(土) 27日(日)

入会のお説明

＝会員になって活動を支えて下さい。＝

- 我々はボランティアで活動しています。
- 176名の会員が汗を流して頑張っています。
- 年会費 正会員（個人）2,000円
賛助会員（会社又は団体）1口10,000円
- 加入連絡先 04-2932-4515（山畠 博）

新入会員ご紹介

（会員番号 氏名 4月30日入会まで）

3 8 1	内沼 敏	3 8 2	宮岡 栄一	3 8 3	川田良太郎	3 8 4	鈴木 千代
3 8 5	武藤 修一	3 8 6	門馬 和重	3 8 7	吉沢 信次	3 8 8	木下 博
3 8 9	渡辺 利明	3 9 0	木村 次雄	3 9 1	高松 武	3 9 2	木村 登
3 9 3	木崎 芳雄	3 9 4	昼間サヨ子	3 9 5	三島 久雄	3 9 6	閑谷 稔
3 9 7	平田 勉	3 9 8	大和田美代子	3 9 9	中野 拓真	4 0 0	堀内 廣子
4 0 1	中林 誠一	4 0 2	川合 秀夫	4 0 3	宮坂 右二	4 0 4	池田 捷利
4 0 5	近藤 常雄						

～編集後記～ 前号の10周年記念特集に寄稿された方には深く感謝します。今回は2ページのみとしたため窮屈な編集となってしまいました。次回は4ページの予定です。

（編集委員長 小林貞治郎）

発行責任者：山畠 博 〒358-0053入間市大字仏子1397-3 ☎04-2932-4515